

～中国のネット事情～

下関市総合政策部国際課  
(青島市派遣職員)  
木下 清治

インターネットは、既にインフラの一部になっています。特に仕事において、瞬時にデータのやり取りをできるインターネットは、なくてはならない存在になっています。ここ中国でのインターネットの普及のスピードは、目を見張るものがありますし、既に日本より便利に感じる部分もあります。しかし、みなさんご存知のことと思いますが、中国では日本ほど自由にネットを使うことができません。

Facebook、Twitter、Youtube といったものは、使えません。今は普通に使えるようになりましたが、私が青島に派遣された2013年9月には、YAHOO!での検索もできませんでした。繋がりは悪いようですが、YAHOO!メールも現在ではきちんと使えるそうです。Googleでの検索やGmailは、現在全く使えません。こちらも、もともと繋がりは悪かったのですが、昨年の初めぐらいから全く使えなくなってしまい、現在でも全く使用することができません。

本当にごく最近困ったことになったのは、LINEが全く使えなくなってしまったことです。日本人が多く使っているLINEは、昨年の7月頃、急に繋がらなくなりました。しかし、その後、日本の携帯番号で登録したり、アプリのバージョンを最新版に保つといった対策を施せば、ほぼ自由に使えるようになっていました。ところが、今年の1月末からは本当に全く使えなくなってしまいました。私は、日本の家族との連絡には、主にこのLINEを使っていたため、毎日のように利用していたのですが、急にLINEを送ることも受けることも、さらにはLINEに付属する様々なサービスも使えなくなってしまいました。LINEが使えなくなる少し前から、スカイプが使えなくなったとか、YAHOO!系のサービスが使えなくなったとか、中国に住んでいる日本人の友人からいろいろ話を聞いていたのですが、LINEが使えなくなってしまったことで、ネットのサービスが普通に使えることの有難さを再認識しました。

私は、現在、帰国の船上でこれを書いています。私が青島を離れる直前にLINEが使えなくなってしまったので、リサーチが不足していますが、それでも私の周りのAndroid系の携帯を使っている人はLINEを使っているようですので、私が青島に戻る一ヶ月後までにiOSも再度LINEが使えるようになっていることを祈るばかりです。

ちなみに、中国人は、LINEの代わりにQQや微信(ウェイシン)をよく使っています。どちらも、中国の同じ企業が提供しているサービスです。どちらのサービスも無料でテキストや音声を送受信できます。QQの方がサービス開始が早かったため、登録者数は多かったようですが、微信は携帯だけで様々な支払いができたりなど、QQより便利なが多いようで、今では微信を利用している人の方が多いようです。私が知り合う中国人は、だいたいこの微信を持っています。

それにしても、次は、何が使えなくなるのでしょうか…。私は、青島大学の寮に住んでいるので、大学独自のネット規制もあるせいか、ネットが全く繋がらなくなる日も多々あります。

中国人は、よく「天に政策あり、地に対策あり」と言います。「政府が何かを規制しても、人民は必ず抜け道を考える」ということです。つまり、「たちごっこ」で、結局同じなので、もう少し自由にさせてほしいなと心から思います。ネットを完全に自由に使用させると危険性があるという考え方も理解できなくはないですが…。